

オリンピックやパラリンピックについて 学ぶ in パナソニックセンター



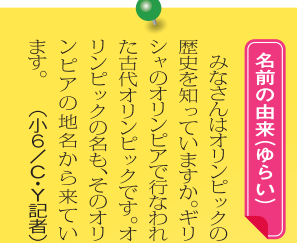
オリンピックの始まり
 オリンピックは約800年前(紀元前776年)が最初、病気や戦争などをなくするためにギリシャの「オリンピア」で行なわれた競技大会が始まりました。
 オリンピックは古代オ



クイズに挑戦しながら歴史を学ぶ

重要な役割だった聖火!
 私たちでも記者は5月12日にパナソニックセンターに取材に行きました。オリンピックの聖火(せいかり)は開催地である皆さんの人となりがリレーです。ほとんど火を渡して、最後に聖火台につけます。聖火の火は太陽の火だそうです。おうちでいう道具で光を集め、火をつけていきます。火は聖火台につけてから17日間燃え続けます。リオ大会のトーチを実際に持ってみて思ったより重かったです。
 (小6/T.O記者)

リンピックと近代オリンピックがあります。それは1500年間オリンピックを行なわなかったときがあるからです。復活させたのは、ピエール・ド・クーベルタン。お互いが知り合いになり仲良くなる。そして世界平和をつなげていこうという目的で復活させました。
 (中1/K.A記者)



みなさんはオリンピックの歴史を知っていますか? ギリシャのオリンピアで行なわれた古代オリンピックです。オリンピックの名も、そのオリンピアの地名から来ています。
 (小6/C.Y記者)

1936年のベルリン大会から聖火リレーが行われました。最終走者は国を象徴する人が選ばれています。昔、聖火は神から人類へ与えられた大切なものとされ、古代オリンピックでは重要(じゅうよう)な役割でした。聖火は伝統がもたらした貴重なものだと思います。
 (中1/A.S記者)



意外とズッシリ!!

だいたい同じ。聖火を運ぶために使うトーチは買っただけで持ちました。2008年のトーチは72cm(北京のトーチは短いものや長いものも有る)、リオオリンピックのトーチは色々長さが変わってすごいです。
 (小4/H.F記者)



一流選手(100m走)の歩はばにびっくり!



パナソニックセンターと理念
 パナソニックセンターでは、オリンピック・パラリンピックのことがわかりやすく体験でき、学ぶようになっていきます。ワークショップでは昔のオリンピック・パラリンピックのこと、聖火のことなどわかりやすく教えてくれました。聖火リレーの時に持つトーチを特別に持たせていただきましたが、意外と重かったです。片手で走るのには結構大変なと思いました。
 (小5/C.K記者)



めざせ! オリンピック博士!!

パナソニックの理念(れんねん)はオリンピックの理念(れんねん)が似ているため、パナソニックは30年以上100人に選手村で使うエアコンや冷房(れいぼう)が、会場に使う防犯カメラなどを提供(ていきょう)しています。パナソニックセンターを使ってオリンピックを中心としたことをしようかして、2020年9



説明をしていただいた阪本(さかもと)さん(左)と夏苺(なつがり)さん(右)

月にオープンしてから191ヵ国から計1000万人の人たちが来ているそうです。センターがある江東区有明は東京ベイゾーンでさまざまな競技が行なわれます。有明で行なわれるオリンピックをぜひ見てみたいです。
 (小5/H.A記者)

働いている人たち、みんな楽しんでいる。学ばないで、楽しんで学べる。これからのオリンピック、パラリンピックについて、たくさん勉強して頑張りますが、パナソニックの方も頑張ってください。
 (小5/Y.T記者)

オリンピック・パラリンピック こども新聞

第4号
 平成30年(2018)
 9/1

2面
 ・ブラックラムズのグラウンドをたずねて



3面
 ・スポーツセンターリニューアル
 ・ウィルチアールラグビー取材



4面
 ・東京アスリート認定式
 ・伝統芸能「新能」取材



5面
 ・オリンピックとハチミツ
 ・JOCサーフィン大会



ブラックラムズのグラウンドにやってきました!

だ円形のボールをキック

2019

ラグビーワールドカップに向けて

4月28日は、世田谷区宇奈根(うなね)にあるリコーブラックラムズのグラウンドに行きました。たて100m、横70mのグラウンドで、トレーニングの道具が入っている建物があって、てまえには選手の部屋や食堂などがある建物がありました。グラウンドはとても広く感じ、ゴールのポールは、高くてなかなかゴールが入りませんでした。あのラグビー場の建物も、とても広いんだと思いました。(小5/R・M記者)



体の大きな選手にとっけき取材

選手たちの思い
選手の想いは、たくさんあります。紹介します。1つ目は、練習についてです。きん肉がつくような練習、クッションにタックルする練習、アクション練習。雨が降っていても毎日合計3時間半します。それは「食事」「すいみん」「健康」が大切だからです。2つ目は「どうやって勝つか相手の作戦を考え、試合前はおどろいどろいしています。私だったらそんな事を考えられない」と思ったので、ビックリしました。選手たちは、すばやく心をく

ラグビーの魅力
一人一人に役割があるので、どの場所を守っていても活やくする場があります。走るのが苦でな人でも、体が小さい人でも、ラグビーで活やくする事ができます。ほくは力が強いので、走るといいう面で、活やくできると思います。ラグビーでは、一人はみんなのために、みんなは一人のためにという目標をもとに体をほくすることも力です。(中1/K・A記者)

選手への質問コーナー

わたしたちは BlackRams (ブラックラムズ) の松橋さん、赤堀さん、中澤さんの3人にインタビューをしてきました。ラグビーワールドカップを早くみたいです。(小5/H・K記者)

Q キックとトライ、どっちがとくい?

A (中澤選手) キックをするポジションなのでキックがとくいです。



疲れをいやすアイシングを体験

Q ラグビーのみりよははなんですか?

A (松橋選手) チームが勝つために協力している。(赤堀さん) せがひくい人やどんな人でもかつやくできる。

赤堀龍秀(あかぼりたつひで)選手のすごい力こぶ

勝利を目指す気持ち!



松橋周平(まつはししゅうへい)選手(左)と中澤健宏(なかざわたけひろ)選手(右)

私達は、選手にこれからの意気込(いきこ)みを語ってもらいました。選手の意見は、どれも力強く、勝利をめざす皆の気持ちの強さが伝わってきました。日々、練習を積み重ねることによって、勝つ時の喜びが大きく感じられるそうです。東京オリンピックで出場する選手にも頑張ってもらい、皆で1位をめざして、トップリーグは、沢山の選手と努力の結晶(けっしょう)のようなものだと思います。オリンピックでは、一つでも多くのメダルをかへてほしいです!(小6/M・K記者)



選手たちの体づくりの大切な要素

「食事」も一緒にいただきました!

たくさんの種類の食事と果物(くだもの)がバランスよく、提供(ていきょう)されていました。



もりもり食べる松橋周平(まつはししゅうへい)選手



研修をしてくださった間瀬(ませ)さん(左)と大山(おおやま)さん(右)

リコーブラックラムズの選手の皆様ありがとうございました!

ドイツ ホストタウン情報

ドイツとサッカー

6月19日、私達新聞記者は広尾にあるドイツ大使館へ取材に行きました。ドイツ大使館では4年に1度行われるサッカーワールドカップのことやドイツのことを取材しました。

私はドイツの食べ物、ドイツの選手やサッカーの始まりのことやサッカーの始まりのドイツの選手が有名だそうですね。ドイツにはサッカーの歴史が長いと聞きました。ドイツの選手の良いところは最後まであきらめず、最後まで一生懸命(しつこく)頑張ることと強さがあることです。サッカーの始まりは工場などで働いていた労働者がスポーツをしたくて、サッカーがスタートしました。1900年くらいに始まり、今ではドイツのどの町にもサッカーが盛んなところがあります。

私は、ドイツ大使館に行ったこと、ドイツの事を知らなかったことと強さがあること。サッカーの始まりは工場などで働いていた労働者がスポーツをしたくて、サッカーがスタートしました。1900年くらいに始まり、今ではドイツのどの町にもサッカーが盛んなところがあります。

とが知れて、他の国のことも知りたくなりました。(小6/T・O記者)

ドイツはワールドカップで4回優勝し、ドイツワールドカップが行われています。ドイツは日本と157年の関係があります。ドイツと日本は仲が良かったです。(小4/H・F記者)

ドイツ大使館の中にいると広々としており、いろんな絵がかざられています。エレベーターには、1、2、3、4と書いてあり、0(ゼロ)はドイツでは日本です。1つと1階だそうなんです。建物のモ



ドイツ大使館の入り口で(サッカードイツ代表チームの紹介パネル)



取材にご対応いただいた須藤(すどう)さん(左)、クレープスさん(中央)、ホーホルトさん(右)。壁の写真はドイツのシュタインマイヤー大統領です

サッカーと日本人選手について質問しました

- Q サッカーワールドカップの日本(選手)に対する印象は?
- A 日本人の選手は言われたことを忠実にやるから、ドイツチームのかんとくたちは「日本の選手は使いやすい」といっていました。
- Q ドイツ代表チームにとっての敵はこの国ですか?
- A ドイツ自身だと思えます。



チームは青であり、1層1層の大きさに壁(か)がくざられていました。(小5/C・K記者)

ドイツと日本

今のドイツの大統領(だいていりゅう)はシュタインマイヤーさんという人であり、平昌オリンピック・パラリンピックの2018年2月の開催期、わざわざ大統領が天皇陛下に会いに来てくれたという事です。ドイツと日本の関係は、ドイツと日本のお互いのことを聞く、おたがいにきちんとか約束や時間を守るという事です。ドイツ大使館に行くと、日本とドイツの関りが深いことがわかりました。(小5/C・K記者)

日本とドイツの間には7時間の時差があります。日本が午後8時のとき、ドイツは午後1時という事です。2020年、文京区はホストタウン



文京ホストタウン通信 ~ドイツ給食~

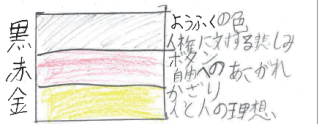
6月26日はドイツ料理の給食でした(窪町小学校)。メニューは、コッペパン、カレーヴルスト、フライドポテト、ザワークラウト風、アイントプフです。カレーヴルストは、カレーの味つけをしたソーセージで、アイントプフは野菜をにこんだスープ、ザワークラウト風は、キャベツのおつけもののような料理でした。ドイツの人たちは、スープにソーセージを入れて食べることもありますが、先生が教えてくださいました。一しょに食べてみると、とてもおいしかったです。何人もおかわりをしていました。

ドイツの国旗(こっさき)の意味やドイツ語の情報が書かれた特別なランチョンマットも用意されていて、クラスでもり上がりました。(小4/T・I記者)



私(根津小学校)が一番オススメなのは、ザワークラウトです。ザワークラウトは、キャベツとニンジンが入ったサラダです。私のクラスでも一番人気でした。友達にインタビューをした結果は、「甘酸っぱくておいしい」、「日本の酢の物より好きかも。」などと大評判でした!また、給食の栄養士の先生にカイザーズラウテルンの事を教えてもらって、クラスの友達は「名前長いね」と驚いていました。

私は今回のドイツ給食を通してドイツとの交流を増やしてカイザーズラウテルンの事をもっと知りたいと思いました。(小5/K・S記者)



ドイツの国旗(こっさき)の意味やドイツ語の情報が書かれた特別なランチョンマットも用意されていて、クラスでもり上がりました。(小4/T・I記者)



ラグビーワールドカップ2019™日本大会 開幕1年前記念イベントを実施します!!

9月20日(木)

9月24日(月・祝)



9月20日は、2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ開催の1年前となります。文京区では、記念イベントとして、後藤崇志氏(ジャパンラグビートップリーグアンバサダー)による講演会を開催いたします。競技をよく知らない方にもわかりやすく解説をいただきます。

多くの皆様にラグビーを知っていただき、日本開催を楽しみにしていただけたいと思います。当日は、「ラグビートライスポットフォトブース」のほか、来場の皆様への記念品配付もございますので、皆様ぜひ、ご来場ください。

【日時】平成30年9月20日(木)

- 第一部 17:00~(30分) 初心者向け内容
- 第二部 18:00~(30分) ラグビーW杯 日本大会に向けて

【会場】文京シビックセンター 1階ギャラリー(入場無料)



女子7人制ラグビーの内容も含めてお話をさせていただきます。

後藤 崇志(ごとうたかし)氏 ジャパンラグビートップリーグアンバサダー

パラリンピック 700日前記念イベント

9月25日は、2020年に東京で開催される東京2020パラリンピック競技大会の開催の700日前となります。記念イベントとして競技紹介展示会、「ポーカロイドコンサート」を開催します。

【日時】平成30年9月24日(月・祝日) 16:00開演(開場15:30~)

【会場】文京シビックセンター 小ホール(入場無料)

【内容】「千本桜」、「六兆年と一夜物語」、「神のまにまに」、「マリオネット」のほか、ポーカロイドによるスポーツのテーマソングをお届けします。皆様ぜひご来場ください。

【日時】平成30年9月20日(木)~9月24日(月) 10:00~18:00 ※9月20日は午後7時まで/最終日は午後3時まで

【会場】文京シビックセンター ギャラリー 【内容】オリンピック・パラリンピックの競技紹介(ほか)

「企画展」同時開催